

2級ボイラー技士試験らくらく穴埋めハンドブック
(第1版第1刷)
正誤表

ISBNコード：978-4-485-21308-7
発行日：2021年 3月31日
作成日：2021年 8月13日

| 頁 | 箇所 | 誤 | 正 |
|-----|---------|---------------------------|-------------------------|
| 209 | 10-11行目 | …ボイラー技士 運転免許 が必要と… | …ボイラー技士 免許 が必要と… |

「令和5年12月18日公布 ボイラー及び圧力容器安全規則の一部改正」 に伴う改正内容について

令和5年12月18日にボイラー及び圧力容器安全規則の一部を改正する省令が交付・施行されました。これに伴い、『2級ボイラー技士試験らくらく穴埋めハンドブック』の下記該当箇所が変更となります。

| 頁 | 箇所 | 改正前 | 改正後 |
|-----|---------------------------------|--|---|
| 119 | 解答 Q6 | ①20 ②1 ③3 | ①20 ②1 ③1 |
| 119 | Pick Up 解説 Q6 | …電力設備容量20 kWを1 m ² に 換算するので、 $60 \div 20 = 3$ m ² である。 …160 kWの電気を熱源とする温水 ボイラーの場合も同様に20 kWを1 m ² に換算して伝熱面積 $160 \div 20 = 8$ m ² となる。したがって、160 kWの電気を 熱源とする温水ボイラーの場合、小型 ボイラーの区分となり、特別教育の受 講のみで取り扱える。 | …電力設備容量20 kWを1 m ² に 換算するので、 $60 \div 60 = 1$ m ² である。 …160 kWの電気を熱源とする温水 ボイラーの場合も同様に60 kWを1 m ² に 換算して伝熱面積 $160 \div 60 = 2.67$ m ² となる。したがって、160 kWの電気を 熱源とする簡易ボイラー（伝熱面積4 m ² 以下）の区分となる場合、取扱いの資格 は不要である。 |
| 212 | 表中 電気 ボイラー の算定方法 の列 | 電力設備容量20 kW当たり 1 m ² とみなして… | 電力設備容量60 kW当たり 1 m ² とみなして… |
| 212 | 表下 注釈 電気 ボイラー | **電気ボイラーは電気設備容量 20 kWを1 m ² とみなして…最大 電力設備容量が300 kWなら $300 \div 20 = 15$ m ² となる。 | **電気ボイラーは電気設備容量 60 kWを1 m ² とみなして…最大 電力設備容量が300 kWなら $300 \div 60 = 5$ m ² となる。 |